

施策評価シート(令和4年度実績評価)

◎施策の基本情報

政策No	0104	政策名	観光の振興	施策主管課	観光課	課長名	藤井 淳
------	------	-----	-------	-------	-----	-----	------

政策の目指す姿 国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出しています

施策No	03	施策名	移動しやすい観光地	関係課名	
------	----	-----	-----------	------	--

施策の目指す姿 観光客がスムーズに移動しています

現状と課題

【現状】

- ・日本人の旅行形態は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、従来からの団体旅行は大きく減少し、個人旅行が大幅に増加しています。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客は減少しており、本格的な観光客数の回復が遅れています。
- ・令和3年12月18日に三陸沿岸道路（仙台～八戸）が全線開通したことにより、沿岸方面から内陸部へ周遊する新たなルートを活用した観光が見込まれます。
- ・温泉、宮沢賢治、まつり等、多くの観光資源がありますが、それぞれの観光施設や資源は広範囲に点在しており、施設間を移動するための二次交通は十分とはいえない状況にあります。

【課題】

- ・個人旅行で訪れる観光客がスムーズに移動できるように、観光施設等の改廃や道路改良、路線変更に対応した適切な箇所への観光案内看板の設置及び適正な維持管理が必要です。
- ・市内の広範囲に及ぶ観光施設を巡る周遊バスについて、魅力的なコース設定と適切な料金体系の検討が必要です。
- ・主要交通拠点（いわて花巻空港や新花巻駅）と観光施設等を結ぶ二次交通の検討が必要です。
- ・当市は大型宿泊施設が多く団体客は貴重であるため、教育旅行を含めた団体客を的確に取り込む必要があります。
- ・三陸沿岸道路（仙台～八戸）が全線開通したことによる、沿岸部から内陸方面へ観光する際の周遊ルート造成や市内宿泊利用を結びつける取り組みが必要です。
- ・観光地をつなぐ公共交通が少ないことから、代替としてレンタサイクル等の活用により、効率的な市内観光を推進する必要があります。

◎前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性

- ・どんぐり・やまねこ号の利用者アンケートを参考として、事業主体である観光協会内での検討を進め、魅力的なコース作りを行い、利用増に繋げる。
- ・老朽化が進んでいる観光施設周辺の小型の観光案内板の修繕を計画的に実施していく。

反映状況

- ・利用者アンケートを参考に、観光協会内で議論を重ね、どんぐり・やまねこ号のコース設定を見直し、一日コースでわんこそば昼食付のコースを追加、ガイド付きの特別コースの設定等の取り組みを実施した。令和3年度比較で、集客数が404人から1,006人と2.4倍に、運行台数が135台から235台と1.7倍になった。
- ・部分修繕・撤去が必要と判断された道路標識・小型の観光案内板の修繕を行うとともに、観光案内板等台帳管理システムの運用を開始した。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

- （1）観光案内表示の充実
 - 観光客にわかりやすい観光案内板の設置と維持管理
 - ・市観光課所管の道路標識、小型観光案内板の修繕、観光案内板等台帳管理システムの運用
- （2）観光施設間の移動手段の確保
 - 駅から温泉、観光施設間の二次交通の運行支援
 - ・花巻温泉郷が共同運行する新花巻駅から温泉施設等への無料送迎バス運行事業への支援
 - 利用者ニーズに対応した魅力的な二次交通の運行支援
 - ・どんぐり・やまねこ号の運行、利用者のアンケート調査を反映したコース設定
 - 団体貸切バスツアーの運行支援
 - ・市内宿泊施設に1泊以上宿泊する貸切バスを利用したツアーに対し、バス経費を支援

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H31	R02	R03	R04	R05	R06
案内板表示に満足した観光客の割合	観光施設等目的地に迷うことなく到着することができたか、観光客ニーズとともに調査測定することとしたもの。	花巻市観光客満足度アンケートにある「案内板表示に満足できたか」という設問により把握する。	%	目標値	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	
				実績値	84.00	87.00	91.00	91.00		
観光環状バス等の利用者数	二次交通となる宿泊施設と駅等を結ぶ送迎バスと主要観光施設を巡る周遊観光バスがどの程度利用されているかを示す指標として設定する。	事業主体からの実績報告 ・温泉郷宿泊施設等送迎バス ・主要観光施設周遊バス	万人	目標値	5.90	5.60	5.60	5.60	5.60	
				実績値	5.47	2.33	1.66	5.10		
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	<p>■成果指標「案内板表示に満足した観光客の割合」・・・【達成度 a】 市観光課が所管する道路標識の修繕等を長期計画により継続実施したことで満足度が高くなったと推察される。</p> <p>■成果指標「観光環状バス等の利用者数」・・・【達成度 b】 市が支援し実施している観光環状バス等については、全国旅行支援が県内で継続して行われ、また、個人旅行、小グループ旅行が増え、国内の旅行需要が大幅に回復したことから、温泉郷宿泊施設等送迎バスの利用が伸びたが、目標値の約9割の実績となった。「観光環状バス等」・・・①温泉郷宿泊施設等送迎バス（宿泊施設と駅等を結ぶ無料送迎バス）、②主要観光施設送迎バス（どんぐり・やまねこ号）</p>

4 施策を構成する事務事業の検証

①市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストの割に成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか
<p>・なし</p>
<p>施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか</p> <p>・（観光ルート整備事業費）どんぐり・やまねこ号は、観光客のニーズに合わせてツアーのコース設定等を見直すことで、集客力を高めることができる。個人旅行・小グループ旅行や県外・遠方からの観光客入込数の増加及び新幹線利用で市内の移動に車を利用しない観光客の増加により、温泉郷宿泊施設等送迎バスの利用者が増加しており、所有する既存バスの台数だけの対応に限界が出てきている運行団体があり、対策を検討する必要がある。</p> <p>・（観光案内板整備事業費）観光客がスムーズに移動できる環境は時間的余裕を創出し、市内の回遊性向上が期待できる。</p>
<p>新たに取り組むべき事業はないか</p> <p>・なし</p>

5 施策の総合的な評価

課題
<p>・本市の玄関口となる公共交通機関であるJR新幹線及び在来線の駅並びに空港から観光地や温泉郷まで距離が離れており、その往來の方法を確保する2次交通を充実するには訪れたいコース開発が必要となる。</p> <p>・温泉郷宿泊施設等送迎バスの利用者数増に対応できるバス台数確保が課題となっている。</p> <p>・観光施設周辺の小型の観光案内板の老朽化が進んでおり、修繕が必要となっている。</p>
<p>今後の方向性</p> <p>・どんぐり・やまねこ号の新たなコース開発については、利用者アンケートの結果や市内の新たな観光需要が創出又は見込まれる観光スポットも含めたコース開発がなされるよう実施主体の観光協会と協議し検討する。</p> <p>・温泉郷宿泊施設等送迎バス事業実施者の課題解決のため、運行団体との聞き取り・協議を重ね、対策を検討する必要がある。</p> <p>・老朽化した小型の観光案内板については、観光案内板等台帳管理システムの登録データを活用し、撤去か修繕・新設なのか、その必要性を判断し計画的に更新・修繕を行うことで経費の平準化を行う。</p>

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
	事業内容(活動実績)		対象	意図	成果
			直結度		
010	観光ルート整備事業費	観光	一致	直結	C
	花巻温泉郷共同送迎バス運行支援(利用者数 50,201人)、市内観光施設周遊バス運行支援(運行日数 203日、利用者数 859人)、団体旅行貸切バスツアー運行支援(支援台数 249台、利用者数 7,035人) 20,770千円				
020	観光案内板整備事業費	観光	一致	直結	B
	観光案内板等台帳管理システム登録 247か所 システム利用料 424千円 標識、案内板の整備・撤去 全19基(撤去 9基、板修繕 6基、据えなおし 2基、補強 1基、基礎修繕 1基) 4,947千円				